

平成 21 年度 とやま建設フォトコンテスト

- 主 催 富山県建設業協会
後 援 富山県、雇用能力開発機構富山センター、富山県建産連
目 的 建設現場や建設現場に働く人、建設機械などの撮影を通じて、広く一般に建設産業への理解や雇用実態の啓蒙を深めるため。
審査委員長 富山県写真連盟委員長 中尾 譲治
応募点数 85 作品
入 賞 者 以下のとおり

特 選



「安全第一でいかんまいけ！」

細川 隆夫（島田組）

豊かな自然環境の中で工事をしている状況が、突然出没したカモシカにより、一層引き立っている。すばらしいシャッターチャンスである。

金 賞



「爽々と」

富田 栄人
（一般）

青空と雲の調和が良く、海王丸とクレーン船と対比したフレーミングも良く、子供達の黄色の帽子が色彩効果を高めて

いる。



「雪に負けない」前田 早紀（梅本建設工業）

降りしきる雪の中で除雪作業をしている状況が的確に写し出されており、手前に黒板を取り入れたことで、場の臨場感がでている。

銀 賞



「カルデラを護る」
高畑 訓（県営繕課）

初秋の工事現場で働いている作業員の姿がバランス良く写されており、5人の様子も緊張感がある



「よいしょ」田中 球江（一般）

両側のクレーンを斜めから撮影したことにより、遠近感が強調され、吊り下げた橋桁に動きを与えた。



「明日を拓く」杉本 光庸（一般）

手前のシャベルカーと真中の軽四と奥のクレーンの配置が対角線上にあり、奥行感を出している。また、足場があたかもデザイン画のようで面白い。

佳 作



「明日に向かって」
高田 考悦（岡部）



「地域とのふれあい」
東 敬司（東建設）



「法面崩壊を防ぐ」
堂口 隆介（高田組）

総 評

初めてのコンテストとしては、建設現場で働く人達の生き活きとした状況が写し出されていた。また、自然環境も取り入れた作品も多く、このコンテストの特徴が出ていた。

（審査委員長 中尾 譲治）